

## 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	放課後支援事業	所管	教育委員会学校教育部 学校教育課
			TEL 2998-9238

事業の目的 (何の為に 行うか)	遊びや学びを通して児童の創造性、自主性、社会性などを養う機会を増やすため、安心して活動できる場所を提供する。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	当該小学校在籍児童	対象とした数	3,788	人
		実際に 利用した数	2,363	人

活動の内容	(何を したか)	①全児童対策。 ②学校の放課後の施設を借り、地域で「ほうかごところ」の運営委員会を組織して方針を定め、その方針に基づいて放課後支援員や地域のボランティアが実施する。 ③事業に登録した児童が放課後、学校の施設を利用し、自主的に遊び・触れ合い・支援員が見守る。 ④実施は、原則として平日の授業終了から18時まで。 ⑤登録児童の費用は保険料のみ。(年間500円)								
		活動実績	項目名	事業実施学校数	5	項目名	年間利用のべ児童数	60074	項目名	提供した日数
			単位	校		単位	人		単位	日

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	24,082	24,642	30,278	89.3

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	当該小学校在籍児童の事業登録率	登録児童数/在籍児童数	100	68	68.0
			単位	%	%

今後の方向性 (所管の意見)	総合評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
		終了 ⇒ 事業完了		終了		休止
	予算	現状どおり		* 増額		減額 終了

今後の方向性 (二次評価の意見)	二次評価実施の有無 * 有り⇒下記評価へ 無し⇒終了					
	総合評価	拡充 縮小 統合		* 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕		終了
	予算	現状どおり		* 増額		減額 終了

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	130100	TEL	2998-9238
事業コード	放課後支援事業					
130122						
開始年度		平成 15 年度	—	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	次世代育成支援事業			放課後支援事業実施要綱 放課後支援員設置要綱				
	関連・類似事業								
	総合計画の体系	政策	第4章 いきいきと学び・文化をはぐくむまち	施策	2節 学校教育	中柱	6 安全・安心な学校と地域づくりの推進	小柱	(4) 放課後の児童の居場所づくりの推進
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 6 位		・実施計画における位置づけ…   H19 ○   H20 ○						
行政改革大綱における行動計画への位置づけ									
コード		3261		事務事業見直しの推進					
事業開始の背景		近年、社会が大きく変化の中で、児童が放課後安心して遊べる場所が少なくなってきた。また、核家族・少子化の傾向も加速し、異年齢間での集団での遊びや学びを通じた交流を持つことも難しくなり、日常的な小集団での遊びを通して身に付けてきた社会性を学ぶ機会も減ってきた。そこで放課後の児童の居場所として、学校施設を利用して「ほうかごところ」を開始した。							

③事業の内容	目的(何のために、具体的に)						
	遊びや学びを通して児童の創造性、自主性、社会性などを養う機会を増やすため、安心して活動できる場所を提供する。						
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方			
	当該小学校在籍児童			事業登録児童数			
	対象数	単位	平成 18 年度	3,027	人	平成 19 年度	3,788
		平成 18 年度	1,743	人	平成 19 年度	2,363	人
事業の具体的な内容及び実施方法							
①全児童対策。 ②学校の放課後の施設を借り、地域で「ほうかごところ」の運営委員会を組織して方針を定め、その方針に基づいて放課後支援員や地域のボランティアが実施する。 ③事業に登録した児童が放課後、学校の施設を利用し、自主的に遊び・触れ合い・支援員が見守る。 ④実施は、原則として平日の授業終了から18時まで。 ⑤登録児童の費用は保険料のみ。(年間500円)							

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>					
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) )				
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	平成19年度中に改善した点 ①平成19年度から国・県の補助金(1/3ずつ)を受け、事業の実施を行った。 ②4月から明峰小学校で開設をした。 ③開設5校の運営委員長、校長、スタッフリーダーとで連絡協議会を2回行った。 ④スタッフは、資質向上のための研修を行ったり、県主催の研修に2回参加した。					

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		19,764	24,082	31,991
	決算 (見込み含む)		15,401	24,642	
	(嘱託職員) (臨時職員)	( 人 ) ( 人 )	( 人 ) ( 人 )		
	正規職員人件費	0.65 人	5,980	0.60 人	5,636
	公債費				
	事業費合計		21,381	30,278	
	財源内訳	一般財源	21,381	25,361	14,445
	財源内訳	国・県支出金		4,917	17,546
	財源内訳	受益者負担金			
財源内訳	市債				
財源内訳	その他				
市民一人当たり(単位:円)			63.3	89.3	
利用数一単位あたり(単位:円)			12,266.8	12,813.5	

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	事業実施学校数	事業実施学校数	校	4	5	6	
		年間利用のべ児童数	年間利用のべ児童数	人	38,993	60,074	80,000	
		提供した日数	給食のある日	日	185	185	185	
	成果分析	当該小学校在籍児童の事業登録率	登録児童数/在籍児童数	目標値	100	100	100	
実績				57.6	68		実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	
達成率				57.6	68.0		1	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価		
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性	
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input checked="" type="checkbox"/> 対象を拡大する <input type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市、運営委員会	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
		類似・関連事業などとの整理・統合		受益と負担の関係	見直しの必要性	
	他事業との整理・統合	<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
明らかとなった課題	事業実施希望の小学校が増えている。新設に向けて、スタッフの確保、活動場所の整備等に係る予算が必要不可欠である。					
⑧二次評価	今期目標項目(何を)		達成水準(どこまで)		時期(いつまで)	
	平成20年度における目標設定		ほうかごところ実施校の拡充		新設予定(若松小)	平成20年12月
	平成21年度における事業の方向性					
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) )				
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
評価理由						
平成19年度は、本事業の視察に文部科学省、県教育長、山形県米沢市、川崎市、草加市等があり、良い評価を得た。また、事業実施小学校が増え、利用児童数も順調に伸びている。ほうかごところが地域に浸透し、拡充の状況が市民にも周知され、今後も児童の放課後の居場所として事業の拡充が必要である。						
評価日		平成20年5月15日	記入者職氏名		学校教育課長 内野 正行	

⑨個別計画における方向性	平成21年度における事業の方向性					
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 終了				
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	事前評価	部内優先順位… 14 位	非常に高い	高い	やや低い	低い
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
評価理由	優先度評価					
	<input type="checkbox"/> A: 優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業					
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業					
評価日	<input type="checkbox"/> C: 現状での実施は見送るべきと評価する事務事業					
	「放課後の子どもの居場所」としての必要性を認め「引き続き実施」と評価するが、多額の支出を伴うことを広く周知し、受益者負担について早急に対応しなければ今後の規模の拡大は難しいと考える。					

⑩環境基本計画	◎環境基本計画					
	本事業の左記計画における位置づけ… 無し					
	計画コード					
	◎次世代育成支援行動計画					
	本事業の左記計画における位置づけ… 有り					
計画コード		1113				
基本目標	1子どもたちがたくましく生きていくための力を伸ばします					
主要課題	1子どもたちの知識・能力の育成					
施策の方向	1豊かな心と健やかな身体の育成					